

(別紙 1)

自己評価及び外部評価結果

作成日

平成 24年 2月 2日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	2770500698		
法人名	社会福祉法人 和泉福祉会		
事業所名	ひかりの園グループホーム		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪府和泉市下宮町 205 - 5		
自己評価作成日	平成 24年 2月 2日	評価結果市町村受理日	平成24年3月30日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	(基本情報リンク先URLを記入)
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 カロア
所在地	大阪府泉佐野市泉が丘 4 - 4 - 33
訪問調査日	平成24年2月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

ご利用者に出来るだけ外の空気を味わっていただけるよう、外出の機会を多く提供させていただいています。散歩で気分転換、下肢筋力の維持に繋げ、散歩が出来ないときでも館内で一緒に歩いたり、運動器具を使用し体を動かしていただけるよう努めています。また、ご利用者個人の状態に合わせた、食事や趣味等をご用意させていただきよう対応させていただいています。出来ることは可能な限り職員と共に行っていただいています。健康・能力の維持、寝たきりの防止に努め、長くグループホームでお過ごしいただけるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

自然豊かな環境の中に施設があり、ホーム内の共用空間の窓からは周りの景色が一望でき、利用者の皆様は穏やかに過ごされています。  
日常的な散歩や買い物、季節ごとの花見や遠足等外出する機会が多く、近隣の幼稚園や、小・中学校とも交流があり、ホーム内においても様々な行事が用意され、楽しみを持って生活が送れる支援がされています。又、利用者それぞれに合わせた支援もされており、下肢筋力が低下した利用者に対してはホーム内での歩行訓練や運動器具を用いたのリハビリが行われ、編み物や書き物等の趣味を継続できる支援もされています。  
利用者の皆様が職員とともに家庭的な雰囲気の中で生活が送られています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念をもとに、グループホームの目標を作り、共有・実践しています。	グループホーム独自の目標が玄関及び各フロアーに掲げられ、年度始めの研修においても目標の話がされ職員全体に意識統一がされています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日々の散歩をい、ご近所の方と挨拶をしたり、幼稚園・小学校との相互訪問等行っています。	散歩や買い物等の日常的な外出時の近隣の方への挨拶、また近隣の清掃活動を通じて地域とのかわりがされています。幼稚園、小中学校とも相互の行事等を通じて訪問が行われています。	より一層の地域交流が深まるよう、昨年度より検討されている自治会への入会を再検討されてはいいかがでしょうか。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご利用者とグループホーム前の道路等清掃行っています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設関係者による施設の視察を受け意見をいただき、ご家族様には家族懇親会を開き、行事内容やご様子の説明を行っています。	年5回の開催があり、同一法人内の施設関係者が参加されサービスの質の向上について話し合われています。	同一法人内の職員だけでなく、利用者及び利用者家族、その他地域の方や市職員及び地域包括職員等多方面の方の参加を求め、サービスの向上についての話をすることが望まれます。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	和泉市より派遣される介護相談員の訪問をいただき、相談員が直接見た、施設の状況、ご利用者との話が市に報告され、指導を受けています。	毎月、市の介護相談員の訪問があり、ホームの状況及び利用者の様子が報告されています。それを通して指導を受けています。	ホーム側からも積極的に市の担当者のところへ出向くなど、日頃から連絡を密にし、協力関係が築いてはいいかがでしょうか。
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は外出後戻れなくなる方がおられるのでやむを得ず行っていますが、その他の身体拘束は一切行っていません。	職員に対しては身体拘束に関する研修を行い、知識を深めていますが、利用者の安全面を考え、玄関、階段、エレベーターは常に施錠がされています。	職員理解をより一層深め、職員の見守り体制づくりや、少しの時間からでも鍵をかけない時間を作るなど、鍵をかけないケアの工夫がされてはいいかがでしょうか。
7		虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について、管理者・主任、職員ともケア会議、ミーティング等で話をし、相当することないように注意しています。		

8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>以前は青年後見人制度を利用されている方がおられ、ご家族にも支援いただいていたのですが、現在、該当者はおられません。</p>		
9	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ご契約の際、グループホームでの対応の限界や退園していただく条件もお話し、その後のフォローについてもご不安に思われないよう説明し、また、ご質問があればお答えしています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>市からの介護相談員の訪問があり、ご家族にはお電話や来園時にお話を伺っています。重要事項説明書にも苦情受付窓口を記載し、玄関にも連絡先を掲示しています。</p>	<p>面会に来られた家族に対しては積極的に話し、何でも相談できる関係づくりがされています。利用者や家族から出た意見や要望は職員間でも話し合いがされ運営に反映されています。</p>
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>会議やミーティングで意見を聞き、日常的に対応や業務内容に反映しています。</p>	<p>会議やミーティング等、職員が積極的に意見を言える機会作りがされています。又、管理者は普段から職員の要望や意見を聞き入れるよう努めており、それらの意見や要望が運営に反映されています。</p>
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>人事考課制度を導入し、面接などで職員の意見等確認し、指導方法の検討、内容の充実に取り組んでいます。</p>	
13		<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>認知症対応型サービス事業管理者研修等の受講、法人内での研修等への参加を行っています。</p>	
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>法人内の施設間での勉強会や情報交換を行っています。</p>	

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階 で、本人が困っていること、不安な こと、要望等に耳を傾けながら、本 人の安心を確保するための関係づく りに努めている</p>	<p>ご入所前に出来る だけ情報を把握 し、ご本人が安心 してお過ごしいた だけの環境を用意 しています。</p>	
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階 で、家族等が困っていること、不安 なこと、要望等に耳を傾けながら、 本人の安心を確保するための関係づ くり努めている</p>	<p>ご家族からのご相談には 丁寧にお答えするよう にしています。また、入 所後のご様子を連絡さ せていただいたり、グ ループホーム以外のサ ービスについてもご相 談させていただきます。</p>	
17	<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階 で、本人と家族等が「その時」ま ず必要としている支援を見極め、 他のサービス利用も含めた対応に 努めている</p>	<p>ご希望いただいてもす ぐに入所していただける 状態にありませんので、 介護サービスを余りご存 知ない方には、各サー ビスの説明を行い、選 択肢についてもご説明 させていただきます。</p>	
18	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の 立場に置かず、暮らしを共にする者 同士の関係を築いている</p>	<p>出来る事は可能な限り ご自分で行っていただ くようにしています。家 事にも役割を持って いただき、行っていただ いた事にはお礼を言 い、共同生活を送って いただいています。</p>	
19	<p>本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の 立場に置かず、本人と家族の絆を大 切にしなが、共に本人を支えてい く関係を築いている</p>	<p>ご家族様に行事予 定等お知らせし、 ご家族様にも参加 を呼びかけていま す。</p>	
20	<p>8 馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴 染みの人や場所との関係が途切れ ないよう、支援に努めている</p>	<p>ご訪問いただいた り、お手紙・年賀 状等を出していた だけよう援助し ています。</p>	<p>知人の方が面会に 来られたり、その 方々に絵手紙や 年賀状を出す などの支援が されています。 又、理髪店等 馴染みの場所 への外出の要 望があれば家 族の協力を得 ながら外出 できる支援が されています。</p>
21	<p>利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人 ひとりが孤立せず利用者同士が 関わり合い、支え合えるような 支援に努めている</p>	<p>ご利用者の様子を把握し、 席などを考え、適切な距離 をとり、必要であれば職員 が入り関わっていただけ るよう配慮しています。ま た、レク等行い、居室から 皆さん出てきていただき 接する時間を確保してい ます。</p>	
22	<p>関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了して も、これまでの関係性を大切にし ながら、必要に応じて本人・家 族の経過をフォローし、相談 や支援に努めている</p>	<p>退園後も、ご家族 の介護等のご相談 をさせていただきます。</p>	

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>外泊・外出等の希望を遠慮なくしていただき、ご本人・ご家族等の意向を尊重し、ご本人のペースで生活を送っていただけるように配慮しています。</p>	<p>本人からの思いや意向が聞き出せない時は、本人の様子を見ながら、又家族と相談し思いや意向の把握に努めています。利用者それぞれが、その人らしく生活が送れるよう支援されています。</p>
24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める</p>	<p>入園前の面接、入園後のご本人・ご家族とのお話の中で生活暦等を伺い、対応に活かしています。</p>	
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>ご利用者の状態に気を配り、一人ひとりに適切と考える対応を行っています。また、日常生活等にも、能力に応じた役割を持っていただくようにしています。</p>	
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ケア会議にて、ご本人の状況や希望、ご家族様の意向等を考慮して、介護計画を作成しています。</p>	<p>ケア会議及び日頃から職員間で利用者についての話がされ、その都度計画の見直しが行われています。医師や看護師、面会に来られた家族からも意見を聞き取り計画に反映されています。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別のケア記録に、様子や気づき、対応を記録し、伝える必要のあることは、ミーティング等で報告しユニット間でも情報共有しています。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個人の食事内容、リハビリ、外出、買物、通院、起床・就寝時間、体調不良時の対応、来客への対応、生活保護、成年後見制度の活用等、様々な支援を行っています。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の診療所や整形外科、精神科医の往診といった医療面の支援や、歌クラブ、保育園、幼稚園、小学校等、地域住民等と交流、支援をいただいています。</p>	

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ひかりの園診療所、提携歯科医院、精神科医の往診等に支援をお願いしています。これら以外のかかりつけ医への通院等にご家族にもご協力いただいています。</p>	<p>本人・家族の希望によりひかりの園診療所、もしくはかかりつけ医の診察を受けています。基本的には、家族同行の受診ですが、場合により通院介助も行われています。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>看護師訪問時や、ひかりの園診療所と連携し、日常の健康管理、医療面での相談を行い、健康維持できるよう努めています。外部医院への受診・往診時には、日頃の様子等含め、情報提供表にて報告しています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>医療機関の地域連携室に受診の相談や入退院の情報交換をご支援いただいています。また、医療機関からの許可があれば、早期の退院にもできる限り対応するよう努めています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご入園の際、グループホームでの対応が困難になった場合、特養でのリアップがあることをご説明し、状態が変わられた際、ご相談させていただいています。終末期のケアについてもご本人・ご家族の意向、適切なケアが可能なかを考慮し、改めてご相談させていただいています。</p>	<p>重度化や終末期について入所時から十分に説明しておられ、看護師にも相談できるようになっています。また家族の希望があればできる限りの支援を心がけています。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>一部職員が応急手当講習を受講しています。可能な限り受講し、各職員が対応できるように努めていきます。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時の取り決め、緊急連絡網を整備し、緊急時には特養からの支援、町内の消防団からの協力を得られるようにしています。</p>	<p>日常的に災害について話し合いを持ち災害を想定し、慌てず行動できるように訓練されています。年2回の避難訓練も実施されています。</p>	<p>今後、地域との協力体制を築いていかれることを期待します。</p>

・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人を尊重し、適切に対応できるよう心掛けています。	援助が必要な時には、本人の気持ちを大切に、自己決定しやすい言葉かけを行っています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	買物等行きたいなど、意思表示できる方は日常的・自発的にされています。自発的に言われたい、意思表示の難しい方については、ケース会議等で検討し、対応しています。		
38	15	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れがありますが、起床・就寝時間、入浴、食事時間、外出等、希望に沿うよう支援しています。	生活の中で以前から楽しまれていた趣味や習い事が継続できるように支援しています。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で可能な方には、ご自分でいただいています。ご自分では難しい方については、整容、衣装等適切に着用していただけるよう配慮しています。		
40	16	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日には、その方の好きなメニューを用意したり、季節に合ったメニューも用意しています。また、おかずを作ったり、後片付けも一緒にしていただいています。	行事ごとなどでは、献立を工夫し、盛り付けなどは利用者と共に行っています。気候の良い時には手作りのお弁当を持ち外出も楽しまれています。	職員も一緒に食事を味わう機会を作ってみてはいかがでしょうか。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	栄養士の作成したメニューで食事を提供しています。水分は食事時、食後、おやつ時などに必ず飲んでいただく時間を設けています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	可能な方には声かけし、行っていただいています。ご自分で難しい方には、食後に歯磨きのお手伝いを行っています。また、歯科医師の定期的な健診を受けていただいています。		

43	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録を付け、できるだけご本人のリズムに合わせて誘導しています。また、排便状況を把握し、体調の変化にも注意しています。できるだけトイレで排泄していただけるよう支援しています。</p>	
44	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分を十分に摂取していただき、排便のない日数で薬を服薬していただく等、便秘にならないよう配慮しています。</p>	
45	17 <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>基本的には決まった日時に予定していますが、希望や状態に応じて、日を変更していただく等対応しています。また、週3回、一人ずつ、ゆっくりと入浴していただけるよう支援しています。</p>	<p>週に3回の入浴日が決められていますが、利用者の体調や希望に応じ、変更も可能で、ゆっくりと一人一人の気持ちに合わせた入浴を支援しています。</p>
46	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>フロアにソファを用意し、ご負担なく休息していただけるようにしています。また、フロアでウトウトされている方にはベッドでお休みいただくよう促し、状態に応じて対応しています。また、寝具は施設のものを用意していただいています。</p>	
47	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>状態に応じて、渡してご自分で服用していただく方や、職員が介助し服用を確認しています。症状の変化があれば、ケース・排泄記録に記録し、把握するようにしています。</p>	
48	<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>炊事・洗濯・掃除等、一緒にしていただいたり、刺繍・編み物や、折り紙を日課とされている方にも続けていただけるよう準備しています。</p>	



49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>毎日の散歩、週3回の交代での買物、季節毎の外出、ご希望等伺った際は、ドライブや散歩を行っています。</p>	<p>毎日の散歩を習慣とし、地域の催しにも参加されています。一人一人の希望により、美容室や買い物などにも出かけられています。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一部の方が現金を所持し、外出の際に買物をされています。管理が難しい方でも小額の現金を所持している方もおられます。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話をご家族が用意してくださっている方もおられます。希望で手紙を購入される方や、年賀状や暑中見舞いなど、可能な方には作成いただき、ご家族等に出していただいています。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>静かで明るく、清潔な施設を心掛けています。共用リビングでは音楽・テレビ等用意しており、装飾はご利用者にも製作していただき、楽しめる場所になるよう努めています。</p>	<p>窓からは周りの景色が一望でき、大変明るく清潔にされています。壁には利用者が制作された季節を感じる作品があり、夏祭りの時の金魚も大切に飼育されています。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用リビングや廊下にソファやイスを用意し、好きな所でお過ごしいただいています。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご入園前に、ご本人が使い慣れた家具や身の回りの物品をお持ちいただくよう、お伝えしています。</p>	<p>家族の理解を得て、利用者が安らげるなじみの家具や趣味のもの、写真などが持ち込まれており、温かい雰囲気づくりに努めています。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内は手すりがあり、バリアフリーになっています。物品も配置を考え、車イスでも自由に移動していただけるようにしています。</p>		

アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の3分の2くらいの 利用者の3分の1くらいの ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回ある たまにある ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	ほぼ全ての利用者と 利用者の3分の2くらいと 利用者の3分の1くらいと ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くない
66	職員は生き生きと働けている		ほぼ全ての職員が 職員の3分の2くらいが 職員の3分の1くらいが ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族が 家族の3分の2くらいが 家族の3分の1くらいが ほとんどできていない